

MARSYAS River SUP 取り扱い説明書

このたびはマーシャス・リバーサップをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用になる前に必ずこの取り扱い説明書をお読みください。

注意

リバーサップは障害や死亡もありえるスポーツだということを十分にご理解の上お楽しみください。このモデルに合わせた SUP スクールでレッスンを受けることが最善です。

- 1) 能力に合ったフィールドを選び、必ずライフジャケット、ヘルメットを着用する。(状況に応じてクイックリリース機能のついたリーシュコードを使用する。)
 - 2) 体調に注意し、一人でパドリングしない。漕ぎ出そうとする水域や陸上の状況、水量、水位、干満、天候の変化などを事前に十分調査する。
 - 4) 乗艇、脱艇などの妨げになる積載、積載はしない。
 - 5) インフレータータイプの SUP は、使用方法、使用回数、保存方法などにより物理的な劣化を伴うことを理解する。
- 上記のような基本的な事柄を販売店とスクールでしっかりと学び安全項目を理解して、事故のないように SUP をお楽しみください。

各部名称と付属品



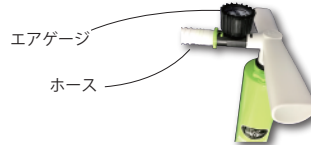
膨らませ方

【ポンプの準備】

ジョイントパーツが付いたエアージェージをセットし、ホースを取り付けます。

【バルブの確認】

ボードを広げ、前方にあるバルブのキャップを開けて、逆止弁 (黄色いギザギザの付いたパーツ) が上がっている (閉じた状態) が確認します。下がっているようなら、逆止弁を押し込んで、反時計回りに回し、上げておきます。



エアージェージ
ホース

- 逆止弁を下げた (開いた状態の) まま空気を入れると、給気後ホースを外す際に空気が抜けてしまうのでご注意ください。

【空気の注入】

ホースの先に付いているアダプターをバルブに差込み、時計回りに回してアダプターを固定させます。ポンプで給気してください。通常 10 分ほどで膨らみます。



- 空気圧は (エアージェージの目盛りで) 12PSI ~ 14PSI が適正です。(15PSI 以上入れないでください。)

- 空気圧を確認し、ボードを手で押さえて硬さを覚えておくと、インフレーション時やエアール漏れの発見などに役立ちます。空気を入れ終わったらしっかりとキャップを閉じ、バルブ内への水の浸入や砂などの異物の付着を防いでください。

【センターフィンの取り付け】*フィンボックスの無いタイプは不要です。

センターフィンには、前方に固定ピン、後方に取り外しできるネジとネジベースが付いています。後方のネジとネジベースを外し、フィンボックスのスリットから、斜めにネジベースを落とし込み、後方にスライドさせておきます。フィン前方の固定ピンをフィンボックスのスリットから差込み、フィン本体を前方に移動させます。フィン後方のネジ穴が、下に落とし込んであったネジベースに合うように、ネジベースの位置とフィンの前後の位置を合わせます。ネジベースの穴位置とフィンの穴位置が合ったら、ネジで軽く止めます。希望の位置になるようにフィンを前後させて、位置が決まったらネジを手でしっかりと締めください。

- 浅い場所を使用する場合、フィンが水底や岩にあたると折れてしまうことがあるのでご注意ください。



空気圧についての注意点

- 空気圧が低いとボード本体の剛性が落ち、漕行するのに危険な状態になることがあります。適正圧力でご使用ください。
- 空気の入れすぎはバースト (船体破裂) や空気漏れの原因になりますので 15PSI 以上入れないでください。
- 高温の状況下 (車内や室内も含む) では熱によりボード内の空気が膨張し、バーストの原因になります。予め空気圧を低めにしてください。
- 気温の高い時は短時間でも直射日光の当たらない日陰などに保管するよう心がけてください。
- やむを得ず日の当たるところに置く場合は、エアージェージを少し抜くようにしましょう。再度乗艇する際は、空気を入れ足すようにしてください。
- 陸上でボードに乗ったり腰掛けたりすると破損の原因になりますのでおやめください。
- 気温が高く水温が低い場合、本体を水に浮かべると中の空気が収縮します。必要に応じて空気を入れ足してください。